

## 今秋の神戸ビエンナーレ

# 資材不足で会場変更

今年10～11月に神戸市内で開かれる芸術文化の祭典「神戸ビエンナーレ2011」組織委員会は26日、会場のうちメリケンパーク会場を神戸ハーバーランドの商業施設「ファミリオ」に変更すると発表した。東日本大震災の影響で野外設営に必要なコンテナや電線、合板、仮設トイレなどが不足しており、被災地への供給を優先するため。

神戸ビエンナーレは2007年から隔年で開催、今回は10月1日～11月23日の54日間に開く。会場のうち、メリケンパーク以外のポアイしおさい公園や兵庫県立美術館、JR西日本高架下で

は予定通り開催する。メリケンパーク会場では輸送用コンテナを利用した公募展「アートインコンテナ国際展」を開催予定で、既に作品の1次審査を終えていた。新会場の商業施設ではコンテナを使わず、レンタル資材などで空間をつくる予定。

イベントを通じた被災地支援も検討中で、総合プロデューサーで華道家の吉田泰巳氏は「被災者は入場無料にし、会場で義援金も集めたい」としている。  
(黒田勝俊)